

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ × 児童館「あすなろ」の家庭教育支援!!

①アイスブレイク



親子で触れ合いながら、身体を動かすことができ、楽しかった!

「グー!パー!」「ひだり!みぎ!」みんなでキヤーキヤー準備体操です。

手遊びがよかったです

②読み語り



年齢にあった絵本が良かったです!

「つぎは何?」「もっと読んで!!!」

③語学学習「コミュニケーション」



「あなたのお名前は?」「いくつ?」「好きな食べ物は何かな?」

質問にちゃんと答えることができ、びっくりしました!

④語学学習「ひらがな えカード」



ひらがなを少しずつ覚えていってほしいなあ...

「あめの“あ”だね」「いちごの“い”だね」「赤くて美味しそうねえ!」

⑤静電気体験



家ではなかなかできないなあ、とっても楽しそう!

「キヤ〜くっついた!」「服からはなれないよ!」「離かたすけて〜!」「おばけだぞ〜!」

スタッフの感想

親子と一緒に楽しく活動することができてよかったです。子どもの様子を見ながら、臨機応変に活動できました。

ひらがな えカード ×ハサミで切り取ってご使用ください。

あ あめ	い いちご	う うきわ	え えのぐ	お おばけ
か かさ	き ききゅう	く くじら	け けむし	こ こま

© 2018 とぎっ http://print-kids.net/

ほのほの



子育てがんばっています!

朝早くから夕方まで、仕事で家にいないけど、じいちゃん、ばあちゃん、ひいばあちゃんがいってくれるからさみしくないね。
週末にはできるだけ一緒に過ごして、心も体も充電しています。
ばあばのご飯が元気の源!ひいばあちゃんの存在も大切です。時にはけんかもするけど、みんな元気に過ごせる毎日に感謝して、頑張ります。

祖父母：川中 敏明、常代
母：真紀 子ども：佑真 曾祖母：富香（大平）

サポートグループスタッフから親子のコミュニケーションの取り方についてアドバイス

ちょっとした時間、お風呂や寝る前の時間等を有効に利用しましょう。
「ウンウン」「そうだったの」と相づちを打つだけでも話を聴くことができます。子どもと目線を合せて話し、言葉を反復してあげましょう。
ポイントは話を遮らないことです!!
もっと会話をつなげるなら、「それからどうなったの?」と尋ねてみてください。

連絡先 **伊予市家庭教育・子育てサポートグループ**

☎ 982-5155 FAX.982-5156

〒799-3193 伊予市米湊820(伊予市教育委員会 社会教育課内)

家庭は「心の基地」をつくるどころ!!

～上野地区公民館 家庭教育学級～

伊予幼稚園保護者13名の参加のもと、大人向け絵本の読み語りを聞いたり、「子育てで楽しかったこと・つらかったこと」を話し合ったりしました。

以前は親の言うことを素直に聞いていたが、最近はおかしいと思うことを兄弟で相談して親に言い返してくるようになり、成長を感じた。

感情的になって怒りすぎたと思うことが多々ある…。絵本の読み語りを聞いて気を付けようと思った。

親子の強い信頼関係があれば、子どもは親の気持ちを理解してくれる。家庭の一番の役割は、子どもの心の基地「優しさや、感動する心、やる気」などを育むこと!

サポートグループスタッフより

「**愛着障害**」という言葉を知ったことがありますか? 幼児期の親子関係がうまく結ばなかったために、情緒や対人関係が不安定になることをいいます。今のうちに、子どもをしっかり抱きしめてあげましょう。



アドラー心理学で『**楽育で育楽**』に!!

～大平地区公民館 家庭教育学級～

「アドラー心理学」の理論を学び、「楽育で育楽(楽しく気楽な子育て)」をグループで実践しました。

アドラー心理学においては、「感情的に叱ったりせず、子どもを認めること」、「子どもに共感することは、子どもを勇気づけること(困難を克服する活力を与えることの意味)に繋がること」が大切であり、普段とは少し異なる育児の視点を学ぶことができました。



有限会社ヒューマンギルド認定講師
勇気づけリーダー 土屋 希さん

1 問題行動があれば「原因」ではなく「目的」を探ろう!

「どうして泣いているの?」(原因質問) ⇒ 「宿題を自分でできないから…」
「泣いてどうしたいの?」(目的質問) ⇒ 「宿題を一緒にしたい…」(真意)
行動の「原因」を探るのではなく、「**目的**」を探ることで子どもの真意が分かり、解決策の発見に繋がります。

2 子どもを認めることが、子どもに「**勇気**」を与える!

毎日ゲームしている子どもに対しても、子どもの気持ちや目的に関心を寄せて(共感して)、一人の人間として信頼する。
「ゲームが終わったらどうしようか?」と親が寄り添うことで、子どもは「よし、そろそろ宿題をやろう」という「**勇気**」を手にすることができる。



今しかできない子育て、しっかり楽しみましょう

～郡中地区公民館 家庭教育学級～



毎年行っている郡中地区公民館の家庭教育学級。今年度もコロナ禍の中、米湊地域のお母さん方13人に集まいただきました。

3グループに分かれて、これまでの子育てを振り返って楽しかったことやつらかったこと、家庭ごとのスマホやゲームのルール作りについてじっくり語り合うことができました。

いろいろな家庭の話を知ることができ、自分の家庭を見直すいい機会になった。今日のことで、主人と子どもを交え、家族会議をしよう。

楽しく意見交換ができてよかった。共感できる部分がたくさんあって安心した。

これからも子どもと素直で正直な気持ちで向き合い、お互いを思いやりながら、ともに成長していきたい。



正直あまり乗り気じゃなかったが、参加してとてもよかった。他の家族の話聞いて参考になったり励みになったり納得したりできた。明日からの子育てもがんばれそう!

皆さんの話を聞いて、兄弟げんかは普通のことと分かり、安心した。

おとうさん、おかあさん。「家庭教育」っていったいなあに?

「学校教育」と「社会教育」はなんとなくわかるけど、「家庭教育」っていったい何だろう?

『家庭教育』とは、子どもが人として身に着けるべき基礎的な知識や技能、態度などを、**保護者**が共同生活の中で愛情をもって教え、導く営みであり、子どもの成長・発達を築く重要な役割を持つ非常に大事な教育です!!
(えひめ家庭教育応援学習プログラムより)

親や地域住民による「子育て」、親同士による「親育ち(おやそだち)」、地域による「親育て(おやそだて)」を、私たちサポートグループは応援します!!

親自身に「ゆとり」と「笑顔」があること! 家庭内に会話があること!



子どもが元気になる!

子育て中の「こまったな!」「どうすればいいの?」を地域子育て支援コーディネーターに相談してみませんか



ご相談おまちしております。

- ・情報提供や紹介などの利用支援
- ・関係機関との連絡調整



地域子育て支援コーディネーター
(サポートグループスタッフ兼任)

あなたの話しやすい方法で話せます。相談時間は事前予約ができます。
(月～金曜日 年末年始を除く 9時から15時30分)

- ★電話相談
089-982-1119 (直通電話) 伊予市役所子育て支援課
- ★相談室で相談
伊予市役所内相談室でゆっくり相談できます。
- ★子ども総合センター
伊予市総合保健福祉センター2階 089-989-6226
- ★出張相談
伊予市児童センター「みんくる」
子育て支援拠点「あおぞら」
伊予市児童館「あすなろ」